

二年学年だより

No. 12

3月号

令和7年3月発行

2年学年主任

「やるべきことをやる」

高校生活の約3分の2が終了しました。卒業まで約1年。これからの進路や人生の選択を考える大切な時期に差し掛かっています。

人生には多くの選択肢があり、時には迷ったり、悩んだりすることもあるかもしれません。その際に大切なのは「やるべきことをやる」ということです。これから進路を決定したり、受験勉強を本格的に始めたりする一方で、部活動や学校生活を楽しみたい気持ちも強くあるでしょう。勉強、部活動、友人との時間、家族との時間など、たくさんの優先事項がある中で、まずは自分が「やるべきこと」を見極めて、それを実行することが重要です。特に進路選択や受験に関しては、いずれも未来の自分にとって非常に大きな影響を与える決断です。そのため、「やるべきことをやる」とは、今、目の前にある課題や責任に対して真摯に向き合い、全力を尽くすことを意味します。

「やるべきことをやる」とは、やれと言われたことを単に実行するだけではありません。自分の夢や目標に向かって、必要なステップを踏んでいくことです。みなさんが今後迎える進路選択や受験は単なるテストや試験ではなく、これからの人生を形作る大切な瞬間です。何を優先し、どのように行動するかが、未来を大きく変えるのです。

「やるべきことをやる」とは、時には自分を律することでもあります。特に今は、進路選択に悩んでいる人も多くいることでしょう。自分の進みたい道がはっきりと見えていない、または決まらないことに不安を感じるかもしれません。そのときに必要なのは、不安を消すためにスマホ等の「やりたいこと」に逃げるのではなく、目の前の「やるべきこと」にしっかりと取り組むことです。例えば、受験に向けて必要な知識を身に付ける、自己分析を行い自分の強みや興味を明確にする、情報を集めて選択肢を広げるなど、具体的に行動することが大切です。

「やるべきことをやる」という言葉には、先延ばしにしない、途中で投げ出さない、そして自分の目標を見失わないという強い意志が込められています。みなさんがこれから進むべき道で、いろいろな困難や壁にぶつかることがあるかもしれません。そんなときにこそ、「やるべきことをやる」という心を持ち続け、目標に向かって一步一步努力することが重要です。

どんなに小さなことでも、「やるべきことをやる」ことが積み重なれば、やがて大きな成果を生み出します。受験勉強や進路選択はもちろん、学校生活や日々の人間関係、部活動や趣味にも全力で取り組むことで、充実した時間を過ごせるはずですよ。みなさんは、セントラルマラソンを2回経験しました。走り終えた達成感や充実感は、それまでの過程があってこそ得られたものです。諸事情により走ることができなかった人も、友人が頑張る姿を見て、得られるものがあったはずですよ。マラソン以外のことにも、焦らず、自分のペースで、今やるべきことにしっかりと取り組んでください。私たち教員はいつだって、頑張るみなさんを全力で応援しています。